

大学生によるホネホネ教室第3弾

～鳥のヒ・ミ・ツ～

団体名 ヤマザキ動物看護大学
動物機能形態学研究室
代表者名 河西 美穂

① 事業内容

今年度は、八王子市長池公園が主体となって展開する近隣小学校への出張授業に、教育的立場から我々の作製した骨格標本を活かし、「骨格標本から見えてくる鳥の秘密」をテーマとして、実物骨格標本を用いたレクチャーを実施し、授業の一端を担わせて頂いた。ここで使用した標本はここ数年来、長池公園より頂いて組み立てた野鳥の骨格標本を活用した。また、昨年と同じ11月23日（勤労感謝の日）の展示会では鳥類の骨格だけでなく、今年度の研究室生が作製した標本も一緒に展示した。加えて、昨年も好評を頂いた実際の豚足の骨を用いた簡単な骨格の組み立てを体験できるコーナーも企画した。

② 実施報告

昨年度は、八王子市長池公園との共通のビジョンを見据えて一つの事業を形にするというところまで至らなかったため、今年度はその反省を活かし、長池公園が長年にわたり秋葉台小学校の4年生へ行っている野鳥の授業に、私たちも参加させて頂いた。全4回の授業のうち、2回にわたって時間を頂き、鳥類の骨についてのレクチャーを行った。1回目は骨格について興味を持っても

らうために、鳥類の翼の骨格構造はどのようになっているのか、恐竜とのかかわりを交えてレクチャーした。2回目は少し高度な内容とし、鳥類が飛ぶための骨格構造（鎖骨、鳥口骨、肩甲骨）についてレクチャーを行った。



秋葉台小学校の先生からは「講義を受けた子どもたちは、実物を近くで見て確認することができ、楽しく学習に取り組むことができた。」と評価を頂いた。また、主催の長池公園の職員の方々からは「実物との触れ合いが加わったことで、より深みのある学習ができた。スタッフとしても楽しく学

ばせていただいた。」と言葉を頂いた。私たちもこのレクチャーを行うにあたり、改めて骨格構造について学びなおす機会を得られ、より知識を深める良い機会になった。

11月23日に長池公園にて開催した「大学生によるホネホネ教室第3弾～鳥のヒ・ミ・ツ～」では鳥をテーマとし、身近で見られる鳥たちの骨格標本展示説明会を行った。今回も昨年同様に、長池公園のご協力により、展示会準備期間には園内にポスターを掲示して頂き、来館された方にはアンケートにご協力頂いた。さらに、例年好評の豚足の組み立て教室も開催した。また、今回の組み立て教室は、組み立てた標本を持ち帰ることができるようにした。

展示会当日は天候に恵まれ、1日を通して150人もの来館者があった。



③ 事業を実施した感想

長池公園には野鳥が多く集まることから、この展示説明会に大変興味を持って来館してくださった方が多く、アンケートなどから普段、野鳥観察をしている方や、鳥の絵を描いている方もいらっしゃったことが分かった。その中で、鳥について知っていることもあったが、さらに勉強になったと言ってくれる方もいて、嬉しかった。また、実際の骨格標本を見て、面白かった、豚足以外で自分でも標本を組み立ててみたいなどの評価を頂いた。

今回の反省点として、標本ばかりが目立ってしまい、パネルをあまり見ていただけなかった。原因として、学生があまり積極的に声かけをしていなかったことがあると考えた。次に、組み立て教室では用意した骨の数を事前に確認していたが、パーツが合わず、組み立てられない場面があった。これらをふまえ、次回からもより市民の方々と触れ合うことのできる、より良い展示説明会にしていきたいと考えた。

最後に、本事業に対し助成頂いた、大学コンソーシアム八王子に深く感謝いたします。

豚足の組み立て教室では、7月に行った大学コンソーシアム八王子主催の子どもいちょう塾に参加し、再度また体験に来てくださった親子もいた。